

三菱ビル設備オープン統合システム “ Facima BA - system ”

渡邊啓嗣*
田中啓嗣*
上野一巳*

Building Automation System "Facima BA - system"

Yoshitsugu Watanabe, Keiji Tanaka, Kazumi Ueno

要 旨

“ 省エネルギー市場の拡大 ” “ リプレース需要の増加 ” によって、2010年以降、ビル管理システムの市場は拡大すると予測される。本稿では、三菱電機が2009年1月に発売した三菱ビル設備オープン統合システム“ Facima BA - system ” (ファシーマBAシステム)について、その機能及び技術について述べる。

Facima BA - systemの特長は次のとおりである。

(1) フレキシブルなシステム構成

旧機種とのコントローラや通信ケーブルが流用できるため、センター装置から順次リプレースすることが可能なシステムである。

センター装置とコントローラ間のデータ通信に、世界標準プロトコルであるBACnet^(注1)通信を採用し、他社

(注1) BACnetは、米国冷暖房空調工業会(ASHRAE)の登録商標である。

の設備システムも接続可能である。

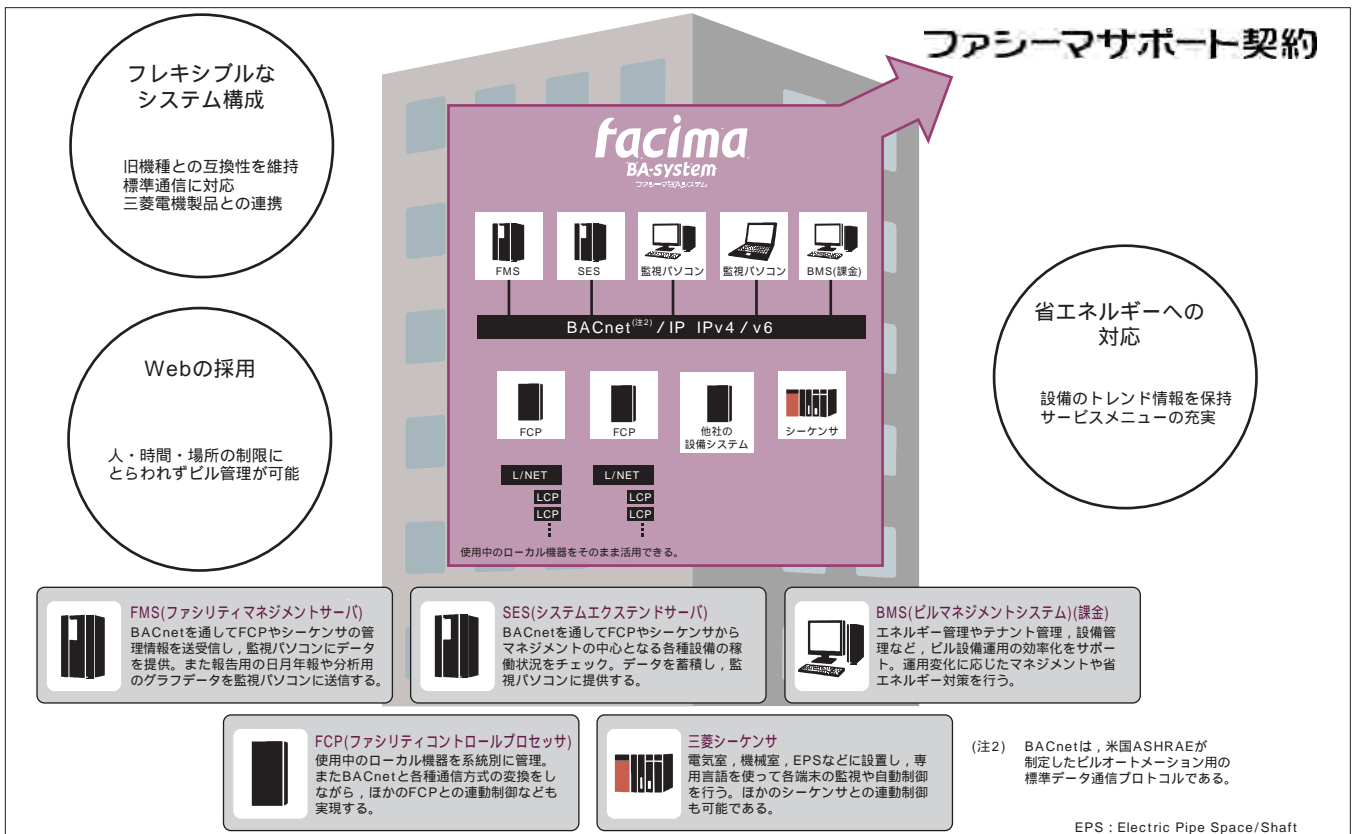
三菱入退室管理システム“ MELSAFETY - P ”や三菱統合ビルセキュリティシステム“ MELSAFETY - G ”、三菱電機ビル空調管理システム“ G - 150AD ”と、DIGUARD接続(三菱専用通信でダイレクト接続)が可能である。

(2) 省エネルギーへの対応

様々な設備のトレンド情報を最大30,000トレンド保持することができ、エネルギー使用分析に利用できる。三菱電機ビルテクノサービス(株) MELTEC)の新保守サービスである“ ファシーマサポート契約 ”と連携することで、改正省エネ法への対応が容易となる。

(3) ヒューマンインタフェースにWebを採用

ヒューマンインタフェースはWebブラウザとし、人・時間・場所にとらわれずにビル管理が可能である。



Facima BA - systemのシステム構成と特長

Facima BA - systemのシステム構成と特長を示す。MELTECの新保守サービスであるファシーマサポート契約との連携が可能である。